

しゅぜんじおんせん

## 修善寺温泉地区

# 伊豆半島の箱庭温泉街 散歩の楽しさ日本一 修善寺温泉



①歴史や文化に触れられる温泉街



②独鈷の湯を中心としたこぢんまりした温泉街



③四季を感じられる自然

所在地	伊豆市修善寺964他
面積	約950ha
施設	修善寺駅、修禅寺、修善寺温泉街、修善寺自然公園、修禅寺奥の院、湯舟川ふれあい公園、桂谷八十八か所めぐり参道等
アクセス	修善寺駅から徒歩15分

修善寺温泉は、世界ジオパーク認定されています。それぞれの特徴は、以下のとおりです。

#### 地形

修善寺温泉は、達磨山(標高982m)の東側の谷あい位置する。伊豆半島が、海底火山であった頃に降り積もった火山灰や軽石からできた岩盤が分布し、岩盤中から温泉が湧出している。

#### 歴史

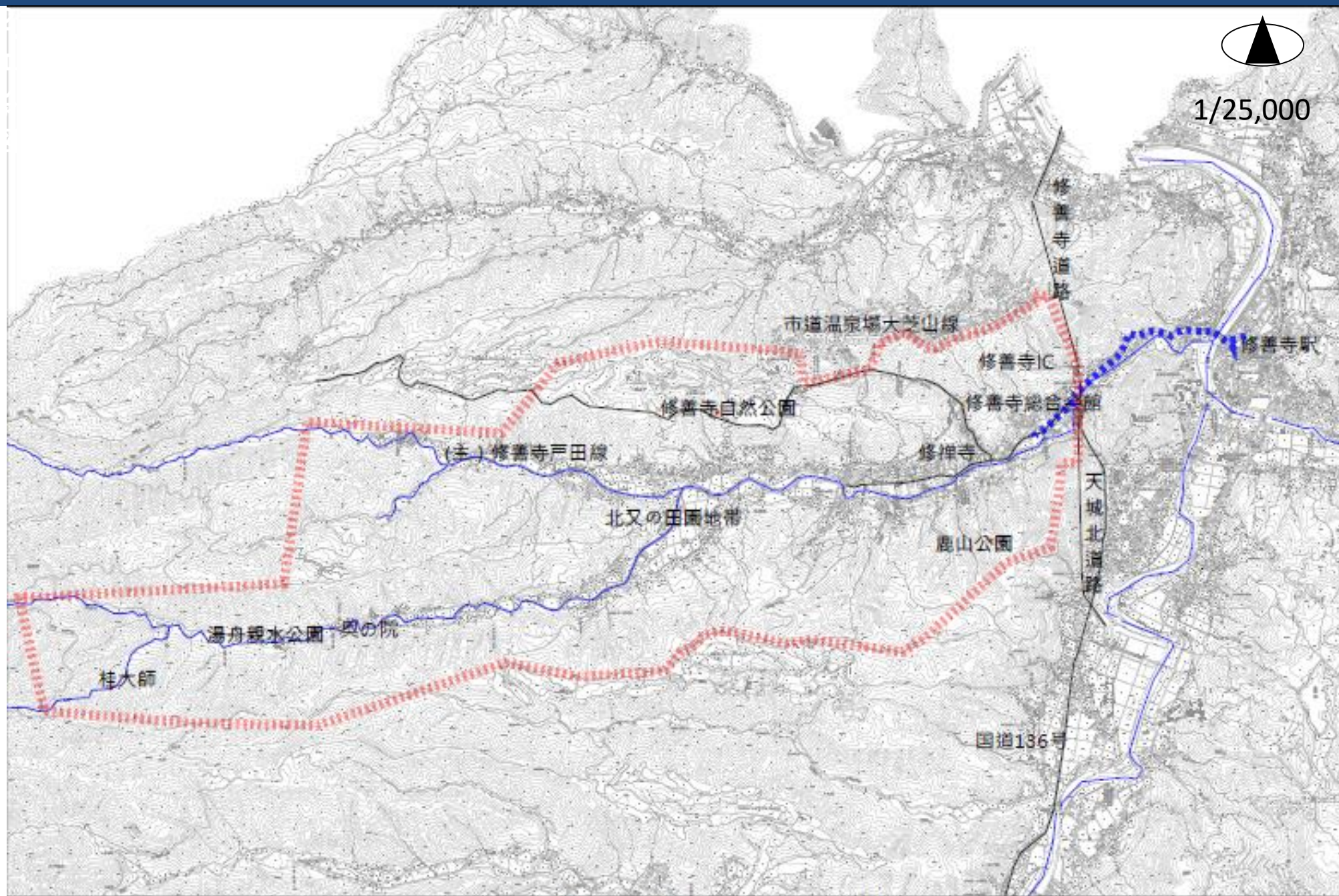
修善寺温泉は、伊豆半島最古の温泉であり、平安時代に弘法大師が、独鈷杵(仏具)で川中の岩を打ち砕き、温泉を湧出させたと伝えられている。また、源頼家が入浴中に暗殺されたことから、鎌倉初期には温泉が利用されていたと推測される。明治初期頃から現在のような温泉場が整備され、その静かな雰囲気から多くの文人墨客に愛されてきた。現在は、温泉場だけでなく、周辺観光施設や史跡等が一体で整備されている。

#### 観光

修善寺温泉は、市内を代表する観光地として、年間を通じて多くの人々が訪れている。温泉街を中心に修善寺虹の郷やもみじ林、梅林などの観光資源が近隣に存在する。これらの観光資源やその沿道は、紅葉などの美しい自然景観を創り出しており、四季を通じて観光を楽しむことができる。

2. 対象エリアの位置図





修善寺温泉は、「歴史や文化に触れられる温泉街」と「独鈷の湯を中心にこぢんまりした温泉街」との2つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

## ① 歴史や文化に触れられる温泉街

### (1) 桂川と旅館



#### 桂川の親水性の向上

地域の中心を流れる桂川は、昔は気軽に入って遊んでいた身近な存在でした。しかし、防災安全に資する護岸や河床の整備などにより、昔ほど身近な存在とは言えなくなりました。地域の景観を構成する桂川における親水性の向上を図り、桂川を景観軸にしたまちづくりを行っていくことが必要です。

#### 歴史ある旅館群が形成するまちなみ



修善寺には、この地を愛した文豪・文化人が滞在した歴史ある数々の旅館が存在します。このような歴史あるまちなみを守るため、周囲の景観と不釣り合いな建築物などの規制や桂川に対して「顔」を向けたまちづくりを行っていくことが必要です。また、景観を阻害している廃屋、空き家などは、取り壊しや再利用などの対策を講じていくことも必要です。

### (2) 名所



#### 独鈷の湯、修禅寺、奥の院、桂大師など

「独鈷の湯」は、弘法大師が独鈷杵(仏具)で岩をうち砕いて温泉が湧き出たと伝えられる伊豆最古の湯であり、修善寺温泉のシンボリック存在です。また、同じく大師が807年に開基したと言われ、伊豆国禅院一千束と正史に記されたほど格式の高い「修禅寺」をはじめ、修善寺では数多くの歴史・文化に触れることができます。

これらの名所におけるいわれや受け継がれてきた行事、また、修禅寺背後の山に古くからある散策路に加え、新しく整備した散策路（千聖林）などの地域の歴史や文化の見える化を図るための解説や、積極的なPRが必要です。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・歴史的な趣きと不釣り合いな建物や、自然景観との不調和な河川護岸
- ・桂川に対して“顔”を向けていない建物や、廃屋・空き家
- ・継承が必要な伝統行事

### (3)文豪逗留場 文豪たちに愛された逗留場



修善寺は、岡本綺堂による戯曲「修禅寺物語」をはじめ、桂川の急流を横切ろうとして力尽きてしまう蛙をじっと見つめた島木健作の「赤蛙」など、多くの名作の舞台となっています。夏目漱石は、転地療養のため修善寺に滞在したことが、その後の彼の文学に多大な影響を与えたとされています。こうした文学の舞台になった修善寺の趣を景観形成に活かすことが必要です。

#### ② 独鈷の湯を中心としたこぢんまりした温泉街

##### (1)温泉街



##### 箱庭的でこぢんまりした温泉街

修善寺温泉はこぢんまりしたエリアに多くの歴史資源が集まる地域です。箱庭のようなこの場所では、のんびりと歩いて散策するのがぴったりです。一方で、日帰り客が多く、滞在時間が短いことが課題であることから、非日常的なまちなみを長時間滞在して堪能することができる夜間景観の演出、朝の修善寺を楽しむ仕組みや、弘法大師が修行を行ったと伝えられる奥の院まで足を伸ばしてもらうなど新たな楽しみを提供することが必要です。また、地域住民の努力により、一部区間で一方通行化が行われていますが、依然歩行者と自動車が混在し、ゆっくり安全に散策を楽しむことに支障をきたしている状況です。観光客に地域のそぞろ歩きを楽しんでもらうためには、歩行者に配慮した交通対策が必要です。さらに、温泉街の雰囲気を壊さない建築物や屋外広告物の色彩などのルールも必要です。

##### (2)ふれあい



##### 印象に残る店主とのふれあい

修善寺には、歴史ある旅館や多数の商店が軒を連ねています。こうした地域では、観光客は店主との会話など、家庭的な触れ合いを一つの魅力として捉え、再び訪れます。

温泉街の店々は、商品を売るだけでなく、楽しい会話やもてなしを通じて、歴史的な温泉街としての雰囲気や情緒を“売る”（提供する）ことも必要です。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・歩行者と自動車の混在
- ・温泉街の雰囲気を損ねている色彩の建物や屋外広告物
- ・長時間滞在してもらうための、夜の演出の不足

### ③ 自然景観を活かした観光利用

#### (1) 自然公園



#### 季節の移ろいを楽しめる公園

修善寺自然公園は大正13年に整備され、桜の植樹や梅林の追加などを経て現在のかたち（修善寺もみじ林、修善寺梅林、修善寺虹の郷）になっています。修善寺温泉街北側の山間部一体に位置し、梅、桜、花しょうぶ、もみじなど四季折々の自然を楽しめるとともに、園内には文学碑が点在するため、散策には事欠きません。

一方で、整備から時間が経ち枯木や支障木が目立つようになってきているため、植物を守るためにも枯木の植替え等による適正な管理、エリアごとの植栽種別の検討、美しい景観を維持するための修景伐採などが必要です。

また、現在は昼間の来園者がほとんどですが、夜間照明を整備することで、長時間滞在や来園者の安全対策につながります。

#### (2) 田園地帯



#### 桂流コシヒカリと温泉街

修善寺温泉の先桂谷地区には、田園が広がっており水稻栽培が行われています。遊休農地対策や農村景観維持も含め、地域で栽培されたコメは「桂流コシヒカリ」として、修善寺温泉内の旅館等で提供される他、市内で販売されています。

今後も維持管理を続け、農村景観を維持していくことが必要です。

#### (3) 親水公園



#### 水と緑が豊かな公園

湯舟川ふれあい公園は、達磨山周辺や奥の院などをめぐる、ウォーキングコースの休憩施設として整備されました。この場所では、湯舟川の清流や緑豊かな木立などを思う存分堪能できます。

一方で、公園内にはベンチしかなく、無断でキャンプが行われるなど、利活用しきれていないのが現状です。

そのため、利用者の利便性向上のための整備（四阿、トイレ、転落防止柵等の整備）や、新たな利用方法（健康づくり、エコツーリズム等）の検討が必要です。

#### 〈景観形成の主な課題〉

- ・枯木や遊休農地といった管理不足
- ・テーマのない植栽の実施
- ・眺望点への雑木等の視界不良
- ・周遊性を高めるための取組の検討

## 伊豆半島の箱庭温泉街 散歩の楽しさ日本一 修善寺温泉

### 目指すべき景観像

・修善寺温泉街や自然景観について施設の維持管理や周遊性を向上させる整備、眺望維持といった景観形成を創っていきます。

### 地域景観ミーティングで出た意見

#### 地域住民の視点

- ・紅葉や富士山などの自然が豊か
- ・歩いて散策できるような観光地整備
- ・園路のライトアップなど昼夜楽しめる環境づくり
- ・施設の適切な維持管理
- ・温泉場中心のみならず周辺の里山と一体となったエリア設定
- ・眺望が綺麗に見えるような工夫


#### 有識者の視点

- ・富士山等の眺望が見られるような工夫
- ・既存施設の適切な管理
- ・一過性ではなく、長く活用や観光利用できる観光地づくり




目標1

温泉場や桂川に  
歴史や文化を  
感じる景観づくり



目標2

温泉場の雰囲気  
盛り立てる  
景観づくり



目標3

自然環境の保全  
管理と景観づくり



景観づくり方針

- ① 歴史・文化を感じる温泉場づくり
- ② 桂川沿いの眺望景観づくり
- ③ 奥の院への散策路づくり

景観づくり方針

- ① そぞろ歩きを楽しむことのできる仕掛けづくり

景観づくり方針

- ① 沿道緑化づくり
- ② 観光利用できる自然景観づくり
- ③ 持続可能な農村景観づくり

対象エリアへの入口・アクセス部における景観形成

目標1 温泉場や桂川に歴史や伝統を感じる景観づくり

方針1-① 歴史・文化を感じる温泉場づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>①歴史・文化資源の適切な維持管理</li> <li>②休憩施設の整備・修景【景観色等への統一】</li> <li>③歩行者空間の整備・修景【歩道整備及びカラー舗装】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①所有者・管理者、市など</li> <li>②市、事業者、関係団体</li> <li>③県、市、地域住民</li> </ul>
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>④周囲の景観と調和した護岸の修景の検討</li> <li>⑤電線の地中化、電柱の移設などの検討</li> <li>⑥空き家（店舗含む）や空き地の有効的活用の検討【是正又は活用の検討】</li> <li>⑦温泉場にふさわしい建物外観の統一化【色彩等重点地区計画に基づく検討】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④地域住民、関係団体、県、市など</li> <li>⑤事業者、関係団体、県、市(観光担当部署)など</li> <li>⑥所有者、管理者、市など</li> <li>⑦事業者、地域住民、市など</li> </ul>

方針1-② 桂川沿いの眺望景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧桂川に面した店舗の裏側の整理整頓、修景</li> <li>⑨建築物などの高さを揃えるルールの策定【重点地区の計画を参照】</li> <li>⑩桂川における眺望場所の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧事業者など</li> <li>⑨地域住民、関係団体、市(など)</li> <li>⑩市、関係団体など</li> </ul>
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪桂川における親水空間の向上に向けた仕組みの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪地域住民、関係団体、県、市</li> </ul>

方針1-③ 奥の院への散策路づくり

	取組み	実施主体
短期	⑫道路などにおける魅力を高める植栽の取組みの検討 ⑬健康づくりやエコツーリズムとしての利用の検討（ウォーキングやサイクリングルートの整備）	⑫地域住民、事業者、関係団体、市など ⑬関係団体、地域住民、市など
中・長期	⑭歩行者空間の整備・修景【路肩の整備等】	⑭県、市

目標2 温泉場の雰囲気盛り立てる景観づくり

方針2-① そぞろ歩きを楽しむことができる仕掛けづくり

	取組み	実施主体
短期	⑮湯汲み式などの伝統行事の継続とPR ⑯歩行者に配慮した交通対策の検討（地区内への乗入抑制）【ゾーン30等の検討】 ⑰景観を阻害している違反屋外広告物の是正（修善寺からの景観・赤欄干からの桂川など） ⑱蛍祭り・キャンドルナイト、散策路のライトアップなどの夜間景観の演出 ⑲眺望の視点場整備 ⑳歩行者空間の整備【カラー舗装や車歩道のすみわけの検討】	⑮地域住民、事業者、関係団体、市 ⑯地域住民、事業者、関係団体、市、県など ⑰事業者、市など ⑱地域住民、事業者、関係団体、市 ⑲関係団体、市など ⑳市、県など
中・長期	㉑時間帯規制や一方通行などの車両規制の実施 ㉒屋外広告物の色彩、大きさ等のルールの検討 ㉓景観を阻害している廃屋、空き家対策の検討【是正や活用】	㉑地域住民、事業者、関係団体、市など ㉒地域住民、事業者、市など ㉓所有者、管理者、地域住民、市

目標3

自然環境の保全管理と景観づくり

方針3-① 沿道緑化づくり

	取組み	実施主体
短期	㉔沿道の支障木、雑木の修景伐【沿道の明るさを保つ】 ㉕眺望点からの眺望阻害する支障木の管理（眺望に被らないような管理） ㉖沿道の植栽や除草	㉔道路管理者、県、市など ㉕所有者、管理者、市など ㉖市、地域住民
中・長期	㉗沿道に揃った植栽の実施【花木の種を揃える】	㉗市、事業者、管理者など

方針3-② 観光利用できる自然景観づくり

	取組み	実施主体
短期	㉘枯木植え替え等による適正な管理【もみじなど適切な植栽管理】 ㉙エリアごとの植栽種別の検討 ㉚田園での営農継続、田畑の保全【農業事業との連携】 ㉛健康づくりやエコツーリズムとしての利用の検討（ウォーキングやサイクリングルートの整備） ㉜公園使用のルールづくり	㉘市、管理者 ㉙市、管理者 ㉚所有者、耕作者、農業委員会、市 ㉛関係団体、地域住民、市など ㉜市、管理者
中・長期	㉝もみじ林や梅林のボリュームある植栽の実施 ㉞水とふれあえる空間整備（親水公園の有効利用） ㉟園内駐車場や散策ルートの整備 ㊱眺望景観をることのできる視点場の整備	㉝市、管理者 ㉞市、管理者 ㉟市、関係団体など ㊱市、関係団体など

目標3 自然環境の保全管理と景観づくり

方針3-③ 持続可能な農村景観づくり

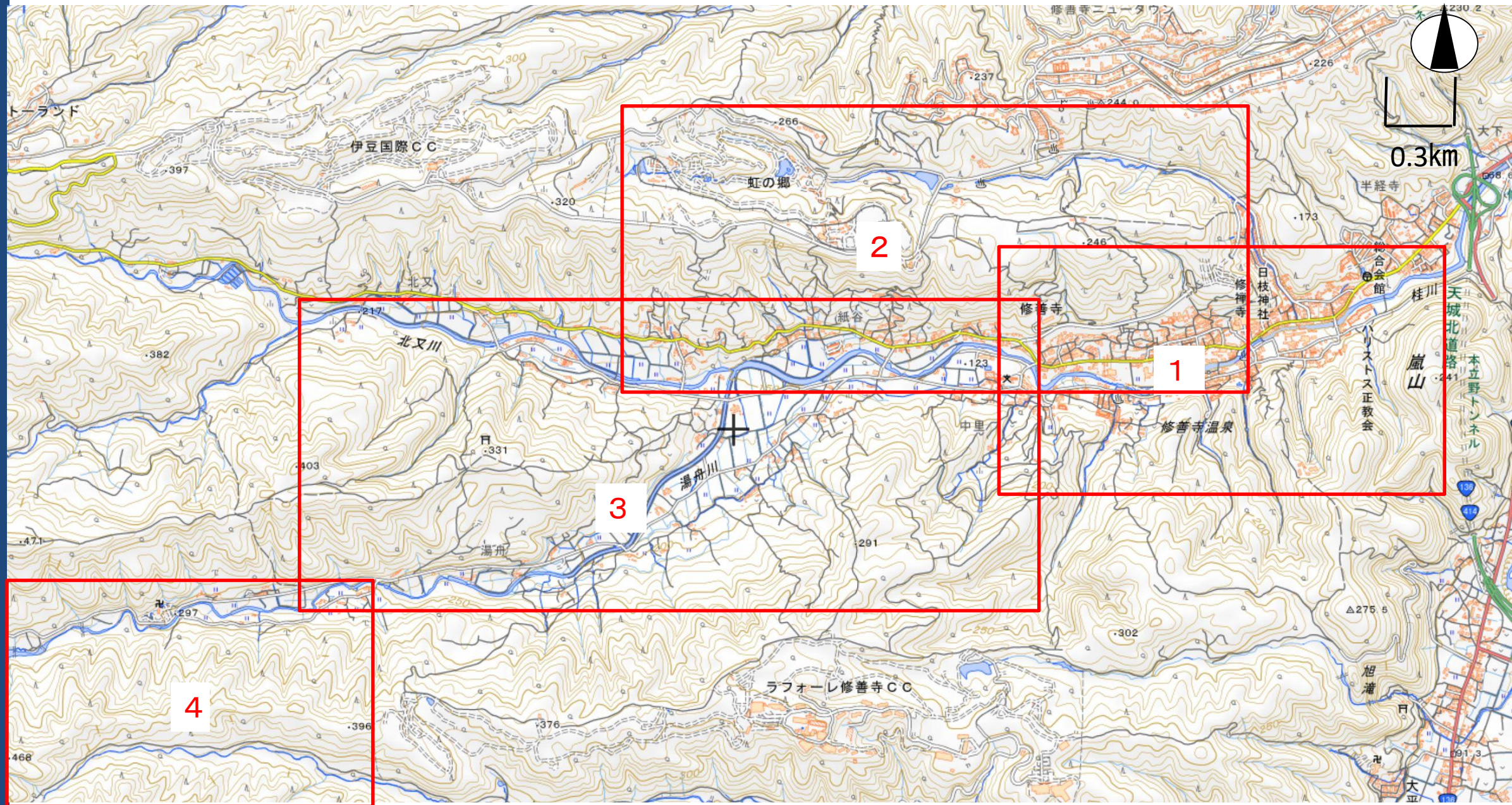
	取組み	実施主体
短期	③7 遊休農地の管理や営農再開の調整 ③8 地産地消の推進【桂谷コシヒカリ等の利用促進】 ③9 法面の草刈りなど農村景観の維持	③7 所有者、農業委員会、市 ③8 事業者 ③9 所有者、耕作者、地域住民
中・長期	④0 遊休地を活用した景観作物などの植栽や営農再開 ④1 農業用施設の色彩検討【トタンなどの色について検討】 ④2 景観農業振興地域整備計画策定の検討	④0 地域住民、農業委員会、市

## 対象エリアの入口・アクセス部における景観形成

当該エリアの入口、あるいはアクセス道路となる箇所（区間）で実施する景観形成を以下に示します。

	取組み	実施主体
短期	④③違反屋外広告物に対する是正措置 （修善寺ICから県道修善寺戸田線）	④①市 ④②市 ④③県、市
	④④放置されたものを含め、違反屋外広告物に対する是正措置（修善寺駅周辺）	
	④⑤歩行者、自転車等に配慮した休憩施設・案内サイン等の整備・修景 （修善寺駅から修善寺温泉街）	
中・長期	④⑥徒歩や自転車での移動が楽しめる仕組みづくりの検討 （修善寺駅から修善寺温泉街）	④④地域住民、事業者、関係団体、市など

7. 景観施策(案)のイメージ図



全体

- ① 歴史・文化資源の適切な維持管理
- ② 休憩施設の整備・修景【景観色等への統一】
- ③ 歩行者空間の整備・修景【歩道整備及びカラー舗装】
- ④ 周囲の景観と調和した護岸の修景の検討
- ⑤ 電線の地中化、電柱の移設などの検討
- ⑥ 空き家（店舗含む）や空き地の有効的活用の検討【是正又は活用の検討】
- ⑦ 温泉場にふさわしい建物外観の統一化【色彩等重点地区計画に基づく検討】
- ⑨ 建築物などの高さを揃えるルールの方策【重点地区の計画を参照】
- ⑩ 桂川における親水空間の向上に向けた仕組みの検討
- ⑮ 湯汲み式などの伝統行事の継続とPR
- ⑰ 景観を阻害している違反屋外広告物の是正（修善寺からの景観・赤欄干からの桂川など）
- ⑱ 蛍祭り・キャンドルナイト、散策路のライトアップなどの夜間景観の演出
- ⑲ 眺望の視点場整備
- ⑳ 歩行者空間の整備【カラー舗装や車歩道のすみわけの検討】
- ㉒ 屋外広告物の色彩、大きさ等のルールの検討
- ㉓ 景観を阻害している廃屋、空き家対策の検討【是正や活用】

凡例 紫字：短期的な取組み  
 緑字：中・長期的な取組み



屋外広告物のルールの検討



河川護岸の修景



土木工事等における舗装の

⑧ 桂川に面した店舗の裏側の整理整頓、修景  
 ⑩ 桂川における眺望場所の整備

⑲ 歩行者空間の整備【カラー舗装や車歩道のすみわけの検討】

⑯ 歩行者に配慮した交通対策の検討（区内への乗入抑制）【ゾーン30等の検討】

㉑ 時間帯規制や一方通行などの車両規制の実施



7. 景観施策(案)のイメージ図



眺望(富士山)を隠す支障木



歩道のない遊歩道



園路の色彩や材質の違い

⑳ 枯木挿え替え等による適正な管理【おみじなど適切な植栽管理】

㉑ エリアごとの植栽種別の検討

㉒ 健康づくりやエコツーリズムとしての利用の検討(ウォーキングやサイクリングルートの整備)

㉓ おみじ林や梅林のボリュームある植栽の実施

㉔ 園内駐車場や散策ルートの整備

㉕ 眺望景観を見ることができる視点場の整備

㉖ 沿道の支障木、雑木の修景伐【沿道の明るさを保つ】

㉗ 眺望点からの眺望阻害する支障木の管理(眺望に被らないような管理)

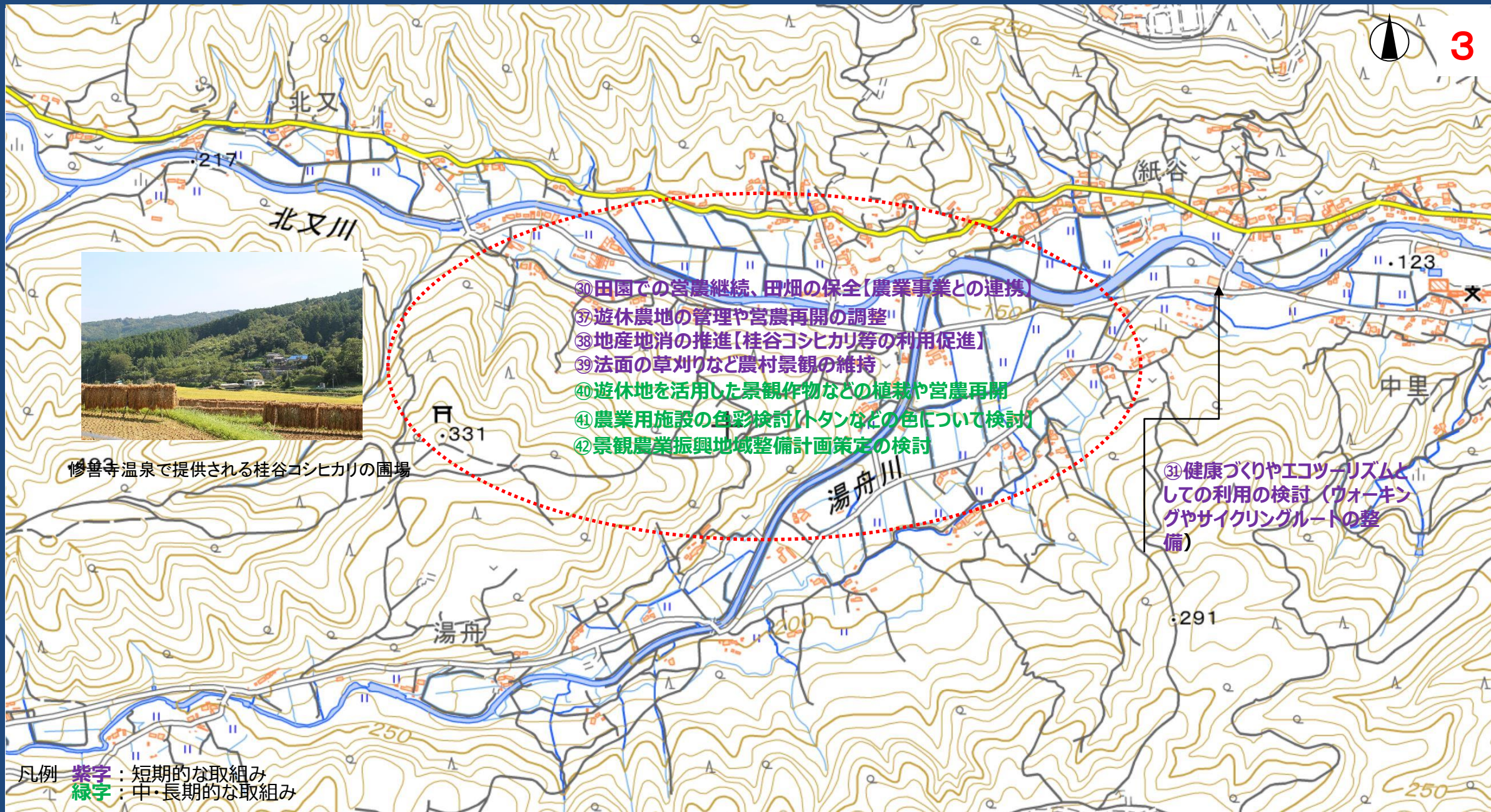
㉘ 沿道の植栽や除草

㉙ 沿道に揃った植栽の実施【花木の種を揃える】

各所に設置されているラミネート看板

凡例 紫字：短期的な取組み  
緑字：中・長期的な取組み

7. 景観施策(案)のイメージ図



凡例 紫字：短期的な取組み  
緑字：中・長期的な取組み



湯舟川

桂大師

.544

.297

.403

.468

阿字苑の荒れた園地

活用しきれない公園の現状

園内での焚火やBBQの残骸

大雨等で流されやすい園路

湯舟川

修禅寺のカツラ

③⑤ 園内駐車場や散策ルート of整備

③② 公園使用 (BBQ) などのルールづくり  
③④ 水とふれあえる空間整備 (親水公園の有効利用)  
③⑤ 園内駐車場や散策ルート of整備

①② 道路などにおける魅力をも高める植栽の取組みの検討

①③ 健康づくりやエコツーリズムとしての利用の検討 (ウォーキングやサイクリングルート of整備)

①④ 歩行者空間 of整備・修景

[路肩 of整備等]

③⑤ 園内駐車場や散策ルート of整備